

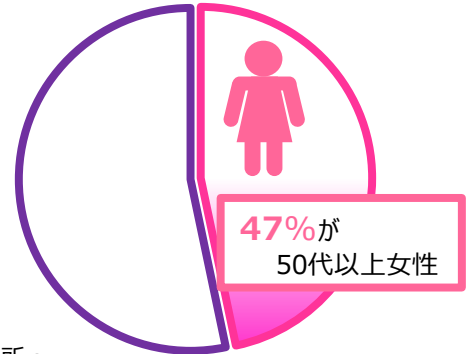
気づいています？ 職場での**転倒**リスク

女性のための転倒防止対策を！

多い中高年女性の転倒

近年、職場での転倒が増えています。その件数（休業4日以上¹の労働災害を集計）は年間200件（人）を超え、10年前の1.7倍です。

実は、その**約5割が50代以上の女性**です。就業者全体に占める中高年齢者の割合が増えている、**労働力人口の高齢化が今後進む中**、職場での転倒防止対策が今求められています。



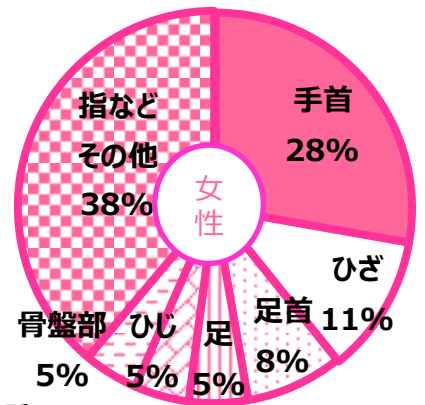
資料出所：労働者死傷病報告(H24～H26(12月末速報値))

重症事故になる場合も

転倒は重症事故になる場合もあります。

転倒により「**骨折**」した割合は男女とも年齢階層が上がるに伴って増加します。

特に、**50代以上の女性の場合は7割**を超えます。



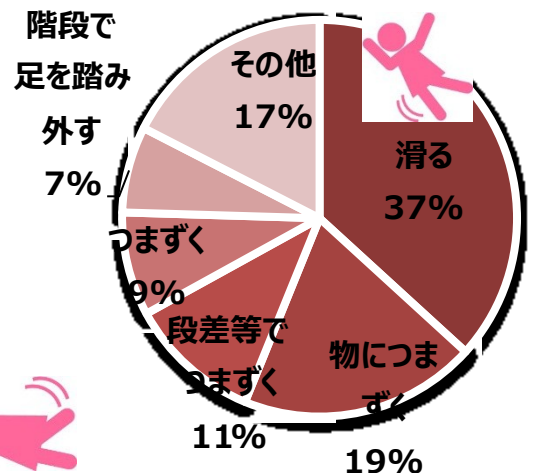
資料出所：労働者死傷病報告(H24～H26(12月末速報値))

転倒要因

職場の転倒要因で多いのは、「**滑る**」です。

次に、「**物につまづく**」、「**段差等でつまづく**」、「**つまづく（障害物なし）**」、「**階段で足を踏み外す**」と続きます。

では、その対策は**裏面をご覧ください**。



資料出所：労働者死傷病報告(H26(12月末速報値))

転倒予防対策

転倒する要因を取り除いて、女性にやさしい職場環境をつくる

- 水濡れ・油分はこまめに拭き取る。改装などの際は床材や床塗装も考えてみましょう。また、濡れた床面での作業がある場合は、滑りにくい靴選びが大切です。
- 通路にもものを置かない、在庫や用具、台車などは所定の置き場を決めておく。職場の整理・整頓をしましょう。業務効率アップも期待できます。
- 通路の段差、継ぎ目を解消し、コードは横断しないようにしましょう。すぐには難しい時は、表示により、注意して通行するよう促しましょう。
- 両手がふさがる荷物の運搬は階段を避ける、台車を使う、複数人で運搬する、小分けするなど、転倒リスクを避ける方法をとみましょう。
- 暗い通路には照明を確保しましょう。
- 「急ぐ・慌てる」ような、転倒リスクを高める環境をなくしましょう。

加齢も意識して、健康と体力づくりが大事

- 加齢に伴う身体機能の変化が、転倒やその際の重傷化リスクを高めることもあります。自分の体のことを見つめてみる。適切な生活習慣や体力づくりも大切です。

チェック

職場環境の転倒リスク簡易診断シート

沖縄労働局では、職場環境の転倒リスクと対策の必要度を可視化する「転倒リスク簡易診断シート」を作成しました。診断方法はカンタン！床がよく濡れているところ、通路にもものが置かれているところ、凹凸があるところ、などの箇所数を入力すると、データ図になって結果が表示され、社内での説明資料としてもお使いいただけます。あくまでも簡易診断ですが、対策を講じるきっかけになるかもしれません。

沖縄労働局ホームページからダウンロードいただけます。

その他、転倒対策の情報を掲載していますので、ぜひ、お越し下さい。

沖縄労働局 職場での転倒防止対策

検索

転倒リスク簡易診断シート

【第1回調査】 調査項目を入力して下さい。 平成27年2月10日

1 床が濡りやすい、よく濡れていることがある 箇所 → *調査結果を入力して下さい。

2 荷物や台車が無造作に置かれている。コードが通路を横断している。
出入り口付近に誘導線 箇所 箇所
それ以外 箇所

3 床の凹凸や段差がある 箇所 箇所

4 台車などを使わないで荷物の運搬を行う
階段 作業数 箇所
それ以外 作業数 箇所

5 暗くて足音が響きづらい 箇所 箇所
日常通行する 箇所 箇所
日常通行しない 箇所

転倒事故のリスク(対策の必要度)

調査項目

3.段差の解消・表示
対策を講じましょう。

【第2回調査】 調査項目を入力して下さい。 平成27年3月30日

1 床が濡りやすい、よく濡れていることがある 箇所 → *調査結果を入力して下さい。

2 荷物や台車が無造作に置かれている。コードが通路を横断している。
出入り口付近に誘導線 箇所 箇所
それ以外 箇所

3 床の凹凸や段差がある 箇所 箇所

4 台車などを使わないで荷物の運搬を行う
階段 作業数 箇所
それ以外 作業数 箇所

5 暗くて足音が響きづらい 箇所 箇所
日常通行する 箇所 箇所
日常通行しない 箇所

転倒事故のリスク(対策の必要度)

調査項目

1.清掃
対策を講じましょう。

沖縄労働局労働基準部健康安全課

お問合せ 電話098-868-4402